

平成 29 年 9 月 27 日

タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）

**映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2017」講師・参加者決定、  
修了生向け「ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム」選抜企画発表**

映画分野における人材育成事業「タレンツ・トーキョー」は、アジアの若手の映画監督やプロデューサーに、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供するものです。世界的に実績のある「ベルリン国際映画祭」と提携して実施しています。

近年、世界の主要な映画祭において、修了生たちの活躍がめざましい本プロジェクト。今年も11月20日（月）～25日（土）までの6日間の日程で行います。

このたび応募選考の結果、15名の参加者（タレンツ）が決定しました。メイン講師には、ペンエーグ・ラッタナルアーン氏、チェドミール・コラル氏、フレデリック・コルヴェズ氏の3名を迎えます。

また、修了生対象のプログラム「ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム」では、タレンツ・トーキョー修了生を対象に、a) 企画開発ファンド：製作前の企画を実現するための支援（上限100万円）、b) プロモーションファンド：完成間近の作品を後押しする支援（上限50万円）の2種類の資金援助を実施しています。

詳細については、別紙1～3をご参照ください。

- 1 「タレンツ・トーキョー2017」メイン講師（別紙1のとおり）
- 2 「タレンツ・トーキョー2017」参加者（タレンツ）（別紙2のとおり）
- 3 ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム選抜企画（別紙3のとおり）

<開催概要>

名称：Talents Tokyo 2017／タレンツ・トーキョー 2017（略称：タレンツ・トーキョー）  
会期：平成 29（2017）年 11 月 20 日（月）～11 月 25 日（土）  
会場：有楽町朝日ホール他  
公式サイト：<http://talents-tokyo.jp>  
主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、  
国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）  
協力：ゲーテ・インスティトゥート / 東京ドイツ文化センター  
提携：ベルリナーレ・タレンツ（ベルリン国際映画祭）  
事業に関する問合せ先：実行委員会事務局 TEL: 03-3560-6393

（\*本事業は、平成 22 年度は「ネクスト・マスターズ・トーキョー」、翌 23 年度から 25 年度は「タレント・キャンパス・トーキョー」、26 年度より「タレンツ・トーキョー」の名称で実施しています。）



## 別紙1「タレント・トーキョー 2017」 メイン講師



(左から、ペンエーグ・ラッタナルアーン氏、チェドミール・コラルル氏、フレデリック・コルヴェズ氏、クリスティーネ・トロストルム氏)

### ペンエーグ・ラッタナルアーン (監督)

バンコク生まれ。

1997年、今までのタイ映画の型を破った長編作品『ファン・バー・カラオケ』で監督デビュー。1990年代後半～2000年代初期のタイ映画界ニューウェーブのパイオニアとして知られる。監督した作品のうち『Sixty-nine シックスティナイン』(1999年)、『わすれな歌』(2001年)、『地球で最後のふたり』(2003年)、『ヘッドショット』(2011年)の4本はそれぞれオスカー外国語映画賞部門にタイ代表としてエントリーされた。数々の作品が世界のメジャーな映画祭で上映され、世界各国で配給されている。

### チェドミール・コラルル (プロデューサー)

クロアチアの湾岸都市リエカ (旧ユーゴスラビア) 生まれ。

ベオグラード・アカデミーのドラマティック・アーツ学部にて映画プロダクションを専攻、卒業。1991年よりパリのNoé Productions社にプロデューサーとして勤務する。手掛けた作品には、『ビフォア・ザ・レイン』(ミルチョ・マンチェフスキ監督/1996年)、『祖国アフリカ』(イドリッサ・ウエドラオゴ監督/1986年)、『Kini and Adams』(イドリッサ・ウエドラオゴ監督/1997年)、『As you like me』(Carmine AMOROSO監督/1997年)、『Train of Life』(Radu MIHAILEANU監督/1998年)、『あの娘と自転車に乗って』(アクタン・アリム・クバト監督/1998年)、『旅立ちの汽笛』(アクタン・アリム・クバト監督/2001年)、『ノー・マンズ・ランド』(ダニス・タノヴィッチ監督/2001年)などがあり、オムニバス映画『11' 09' 01/セプテンバー11』に収録されている、ダニス・タノヴィッチ監督の短編をGalatée films社とStudio Canal社でプロデュースする。

2003年には、パリを拠点にした制作会社、A. S. A. P Films社をダニス・タノヴィッチ監督とマーク・バシェ氏と共に立ち上げる。

フレデリック・コルヴェズ（ワールド・セールス）

Sony Pictures Intl 社と Canal +社の Equinoxe でキャリアをスタートさせ、国際共同製作を担当する。また、Studio Canal 社を牽引するメンバーの一人として、配給会社 Kanpaï Distribution の創設に貢献する。その後 MK2 社や Celluloid Dreams 社とも関わるようになり、テレビ部門を指揮、発展させる。2004 年、UMEDIA/UDI- URBAN DISTRIBUTION INTERNATIONAL 社を創設。2006 年には編集、ミックス、ダビング、字幕に特化したポストプロダクション会社 GOMEDIA 社を創設する。2011 年、URBAN FACTORY 社を立ち上げ、長編映画の国際共同製作などを手掛けている。

また、今回のプログラムにはベルリン国際映画祭（ベルリナーレ・タレント）より、クリスティーネ・トロストルム氏（プロジェクト・マネージャー）も参加いたします。

## 別紙2「タレンツ・トーキョー2017」 参加者（タレンツ）

監督：

Myrna PARAMITA（インドネシア）  
三間旭浩（日本）  
空音央（日本）  
Yana LEKARSKA（韓国）  
Bradley LIEW（マレーシア）  
Zoljargal PUREVDASH（モンゴル）  
Maung Maung Yee Nan Thike（ミャンマー）  
John Paul Geoffrey SU（フィリピン）  
Zhi Wei JOW（シンガポール）  
Nicole Midori WOODFORD（シンガポール）  
LAN Yi-Tzu（台湾）  
PHAM Ngoc Lan（ベトナム）

プロデューサー：

登山里紗（日本）  
Stefano CENTINI（台湾）  
Supatcha THIPSENA（タイ）

\*氏名（国名）

\*タレンツ名は国名のアルファベット順で表示しています。

\*平成29年10月5日時点の情報であり、変更になる可能性があります。

## 別紙3 ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム

### 選抜企画：

#### a) 企画開発ファンド

Mauricio OSAKI (TT2015年修了、ブラジル) <*The Paths of My Father*>

Kavich NEANG (TT2016年修了、カンボジア) <*White Building*>

LI Shanshan (TT2012年修了、中国) <*Get Settled!*>

MO Jinjin (TT2016年修了、中国) <*Go Ashore*>

木下雄介 (TT2016年修了、日本) <*Synchronicity*>

Sein Lyan Tun (TT2016年修了、ミャンマー) <*White in Blood*>

Alyx Ayn ARUMPAC (TT2015年修了、フィリピン) <*Aswang*>

Bianca BALBUENA (TT2012年修了、フィリピン) <*Motel Acacia*>

Armi Rae CACANINDIN (TT2013年修了、フィリピン) <*Whether the Weather is fine*>

\*氏名 (TT 修了年, 国名) <企画名>

\*受賞者名は国名のアルファベット順で表示しています。

\*平成29年9月27日時点の情報であり、変更になる可能性があります。